

VMware ESXi の NX-OSv 9000 への設定 シリアルポート アクセス

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に VMware ESXi の NX-OSv 9000 に設定 シリアルポート アクセスを設定する方法を記述されています。NX-OSv 9000 は Cisco Nexus 9000 の多くの L2 側面を模倣するのに使用できる仮想 な スイッチング プラットフォームです。ルーティング protocols (Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)、Open Shortest Path First (OSPF)、ルーティング情報 プロトコル (RIP) および Border Gateway Protocol (BGP)) のような基本的な L2/L3 機能性を含むデータ平面機能性のサブセットをサポートしている間 NX-OSv 9000 は Nexus 9000 の多くのコントロールプレーン オペレーションをサポートします、トランキング、スイッチ 仮想 インターフェイス (SVI)、VXLAN (フラッドはおよび学びます)、および標準 (非vPC) ポート チャネル。

注: 7.0(3)I5(1) 仮想 な ポート チャネル (vPC) のようなある特定の NX-OS 機能現在で、OTV、ACL および VXLAN (BGP EVPN) は受け入れず設定を CLI 提供およびスイッチ をもらうかもしれませんが、これらの機能はテストされませんし、サポートされません。詳細についてはサポートされた機能性および制限で表 1 サポートされないサポートされたレイヤ 2 および レイヤ 3 の機能 (ソフトウェア) および表 2 NXOS 機能の下でこのコンフィギュレーション ガイド [リンク](#)をクリックして下さい (テストされない)。

インバンド インターフェイス (SVI)、マネージメントインターフェイス (mgmt0) またはコンソール接続を使用する NX-OSv 9000 は物理的 な スイッチとして同じような方式で管理することができます。この技術情報の目的は VMware ESXi hypervisor で動作するネットワークによって支持される仮想 な シリアルインターフェイスに NX-OSv 9000 を接続する方法を記述することです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることを推奨しています。

- vSphere/ESXi ホスト構成基礎。
- Virtual Machine (VM) 管理。
- トランジットネットワークのナレッジ。

注意： Cisco によって直接サポートされないこの設定例はサードパーティ ソフトウェアを参照します。 ESXi/vSphere の追加支援は VMware から直接達成される場合があります：

<http://www.vmware.com/support.html>。

使用するコンポーネント

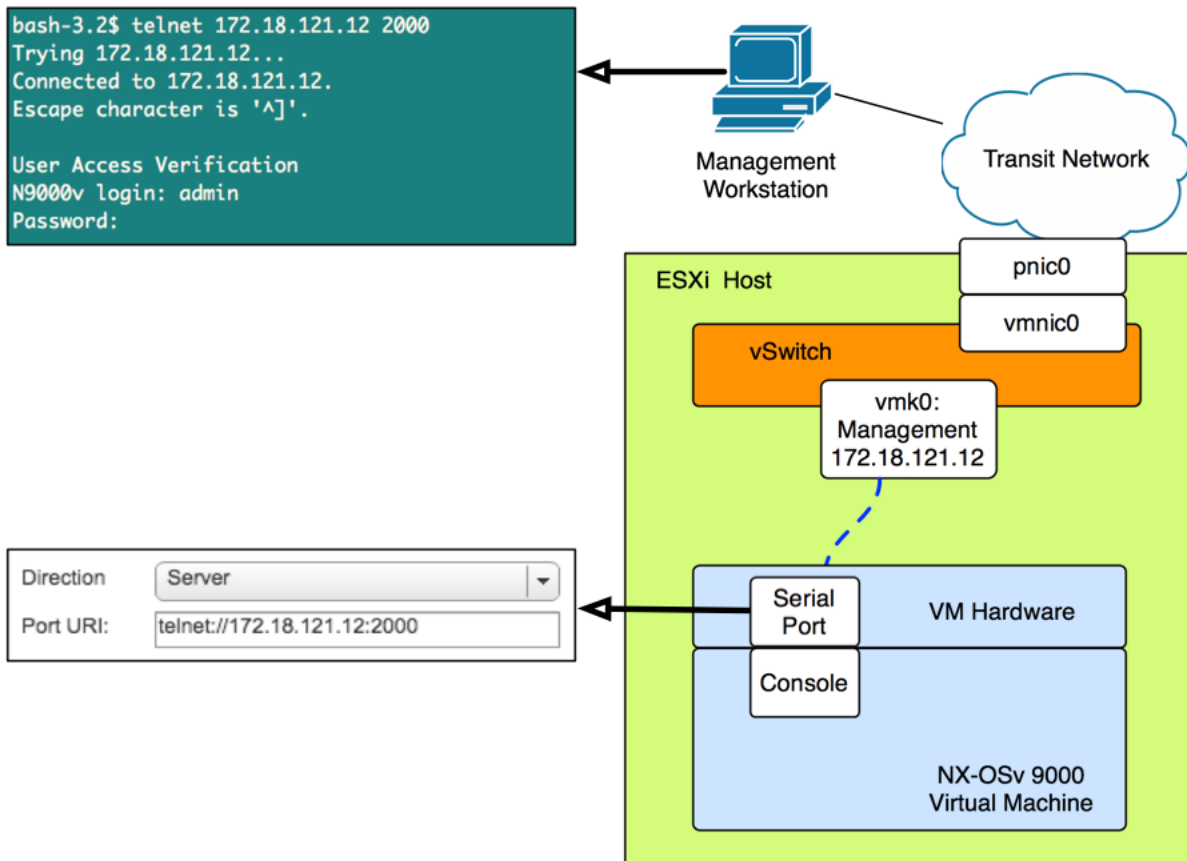
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- NX-OSv 9000 展開された ESXi バージョン (6.0.0 [ビルド 3620759])。
- ESXi ホスト (管理されるスタンドアロンまたは vCenter) および NX-OSv 9000 仮想マシンの十分な特権。
- ESXi VMkernel インターフェイスに仮想 な シリアルポートの TCPポートを許可すること十分な管理 ワークステーションからネットワーク アクセス。
- 仮想 な シリアルポート 機能性は ESXi 企業または Enterprise Plus 認可を必要とします。
- VMware は NX-OSv 9000 でスイッチ (vDS) をサポートされないし、必要とします標準 vSwitch を配りました。

注: vMotion はネットワークによって支持される仮想 な シリアルポートのための直接 URL でサポートされません。 vMotion が必要とされれば仮想 な シリアルポート コンセントレータは配置することができます (vSPC)。 vSPC のコンフィギュレーションの詳細はこの資料の範囲を超えてありましてしかし VMware vSphere ドキュメンテーション センターの下で見つけることができます。

設定

ネットワーク図



設定

1. リモート シリアルポートへの接続を許可するために ESXi ホスト ファイアウォールを設定して下さい。これは GUI (vSphere クライアントか Web クライアントのような) または CLI 両方からすることができます。例は両方とも与えられます。

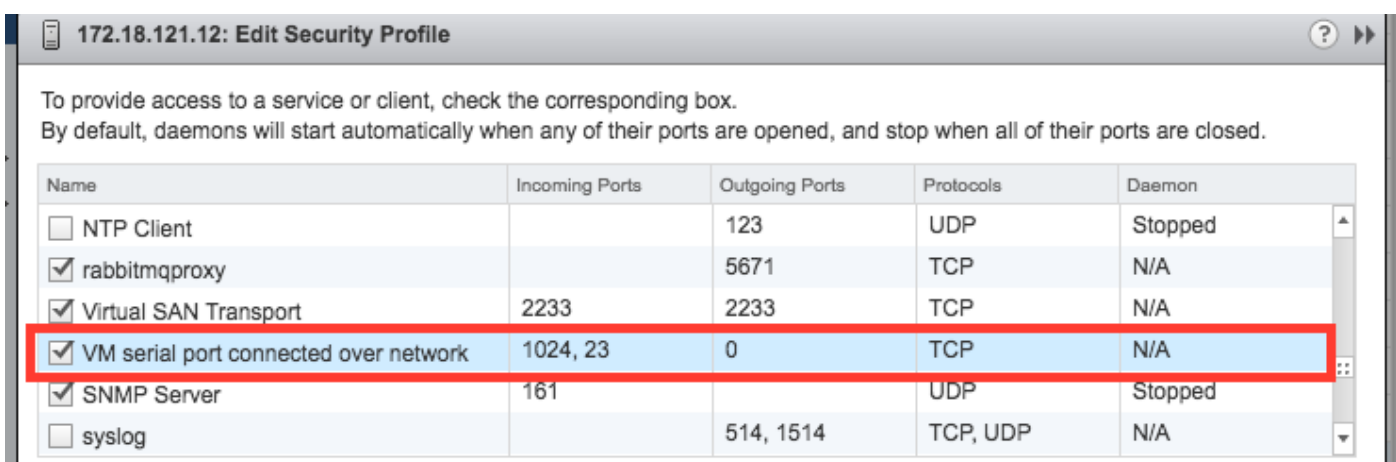
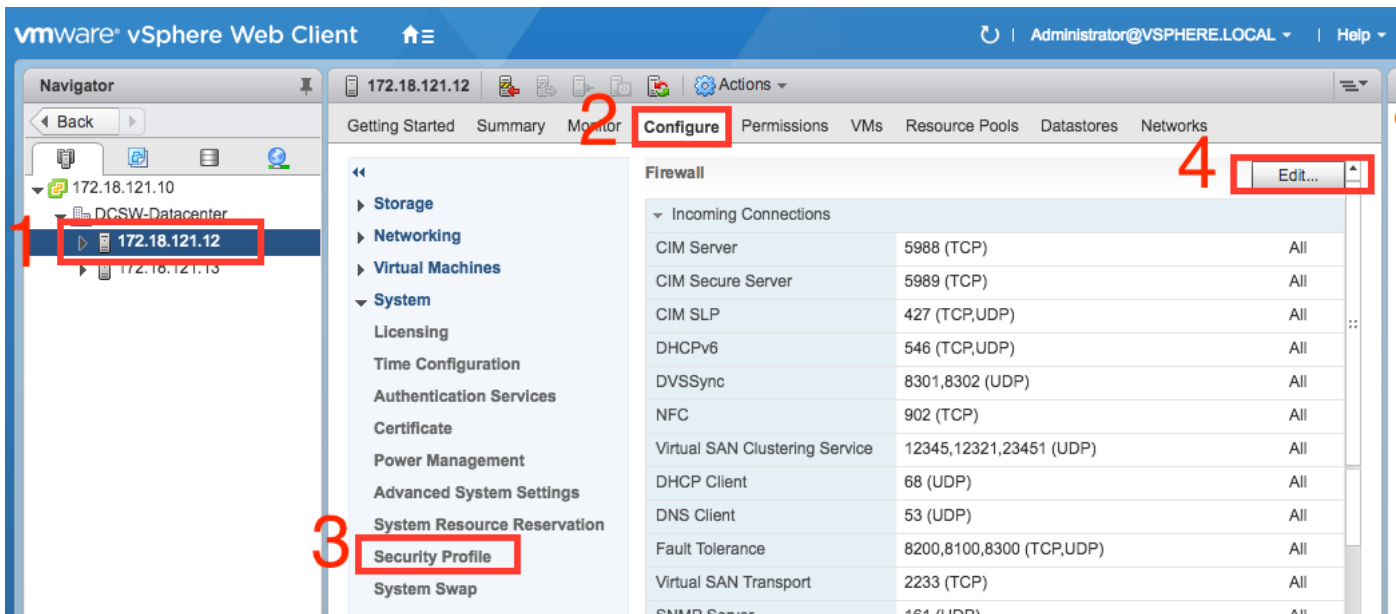
ESXi ホストの SSH CLI から:

```
!By default the Remote Serial Port service is disabled:
!
[root@localhost:~] esxcli network firewall ruleset list | grep remoteSerialPort
remoteSerialPort false

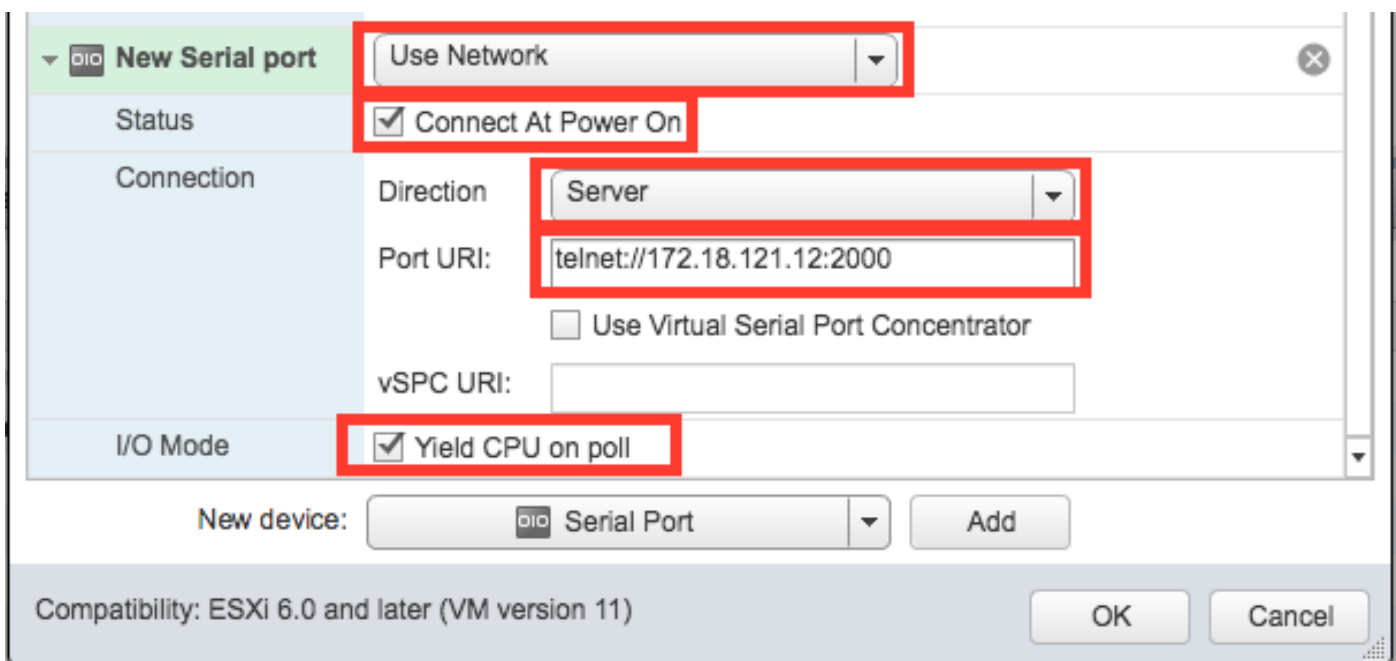
!Enable the remoteSerialPort ruleset:
!
[root@localhost:~] esxcli network firewall ruleset set --enabled true --ruleset-id=remoteSerialPort

!Validate that the remoteSerialPort service is now enabled.
!
[root@localhost:~] esxcli network firewall ruleset list | grep remoteSerialPort
remoteSerialPort true
```

GUI (vSphere Web クライアント) から:



2. VM Edit Settings メニューの下で NX-OSv 9000 仮想計算機にネットワークをサポートされたシリアルポート追加して下さい。NX-OSv 9000 VM はこれを追加するために消す必要があります。



注: VM によってが現在常駐する ESXi ホストのマネジメント サービスのために使用されるポート URI のために規定される インターフェイス IP アドレスは VMkernel インターフェイス IP アドレスである必要があります。現在使用中ではないポート番号は 1024 の上の TCPポートであるかもしれません。vMotion のような VMkernel 他どののサービスのためにも使用しないポート、先祖などを選ぶことを忘れないでいて下さい

注: vMotion はネットワークによって支持される仮想 な シリアルポートのための直接 URI でサポートされません。vMotion が必要とされれば仮想 な シリアルポート コンセントレータは配置することができます (vSPC)。vSPC のコンフィギュレーションの詳細はこの資料の範囲を超えてありまじたりしかし VMware vSphere ドキュメンテーション センターの下で見つけることができます。

3. NX-OSv 9000 VM を起動し、ブート ロードが終わるまで待つて下さい。探しま地虫土地メッセージを ESXi VM コンソールで残します:

```
ength: 10000000
Loading intird 752132096
x86_64/loader/linux.c:573: initrd_pages: 183626
x86_64/loader/linux.c:584: addr_min: 0x0 addr_max: 0x7ffff000 mmap_size: 1440
x86_64/loader/linux.c:603: desc = {type=7,ps=0x1000,us=0x0,sz=157,attr=15}
x86_64/loader/linux.c:603: desc = {type=7,ps=0x100000,us=0x0,sz=48992,attr=15}
x86_64/loader/linux.c:603: desc = {type=7,ps=0xc9ea000,us=0x0,sz=118,attr=15}
x86_64/loader/linux.c:603: desc = {type=7,ps=0x10000000,us=0x0,sz=720896,attr=15}
}
x86_64/loader/linux.c:603: desc = {type=7,ps=0x100000000,us=0x0,sz=1310720,attr=15}

Loading [717M/717M]
[[initrd, addr=0x532b5000, size=0x2cd4a000]]

segment header
length: 4, vendor: 16 flags: 4, loadaddr: 2500000, image len: 800, memory length
: 800
Reading data for vendor seg. Length 2048
Leaving grub land ←
image length read 757450240

image hash: e88cebdf 48a103fb 5a8257de 8b6f3809
-
```

4. NX-OSv 9000 VM のコンソールに接続するのにターミナル エミュレータを使用するようになることができます。

```
bash-3.2$ telnet 172.18.121.12 2000
Trying 172.18.121.12...
Connected to 172.18.121.12.
Escape character is '^]'.

```

```
User Access Verification
N9000v login: admin
Password:

```

確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

コンソール インターフェイスに接続されて configuraton に管理およびデータ平らなインターフェイス進むことができます。

注: mgmt0 は VM ネットワーク インターフェイス 1、イーサネット 1/1 = VM ネットワーク インターフェイス 2、先祖などに常にマッピング されます

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を提供します。

問題 : NX-OSv 9000 VM はローダー プロンプトに起動します:

```
loader > dir
Setting listing for bootflash:
Number of devices detected by BIOS is 1
Number of devices detected by BIOS is 1
Number of devices detected by BIOS is 1
Going to print files for device bootflash:
.rpmstore
nxos.7.0.3.I5.1.bin
Number of devices detected by BIOS is 1
Number of devices detected by BIOS is 1
Number of devices detected by BIOS is 1
Clearing listing for bootflash:

```

```
loader >
```

ソリューション : システムイメージを起動するのにブート構文を使用して下さい:

```
loader > boot nxos.7.0.3.I5.1.bin
```

起動されるブート文を設定し、実行コンフィギュレーションを保存して下さい:

```
N9k#configure
```

```
N9k(config)# boot nxos nxos.7.0.3.I5.1.bin
```

```
N9k#(config)# end
```

```
N9k# copy running-config startup-config
```